

元ちゃんの

今年の天気「秋」

旧暦:文月一日～長月廿九日

新暦:令和5年8月16日～令和5年11月12日

1. 元ちゃんの旧暦予想「秋」

暑秋夕暮 (残暑厳しい秋。夕暮れが趣深い)



新暦8月16日から秋が始まります。閏二月の影響で、秋の入りは遅れると予想します。残暑が厳しいでしょう。加えて、この秋も台風等による大雨にはご注意ください。本格的に秋を感じ始めるのは、新暦9月中旬頃から。十五夜(芋名月)は新暦9月29日、また十三夜(栗名月)は新暦10月27日。

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くのとて、三つ四つ、二つ三つなど、飛びいそぐさへあはれなり。

(写真:旧暦長月廿二日 大豆の葉にコバネバツタ<新暦11月5日>)

2. 今年の「秋」

季節事象	観測日(新暦)	観測日(旧暦)	平年差
富士山の初冠雪	10/5	葉月廿一日	+3
ススキの開花日(銚子)	11/4	長月廿一日	+27

平年差: +<遅い> -<早い>

【気象署の季節観測】

異常気象の「秋」だった!この秋は台風7号でスタートしました。新暦8月15日に和歌山県に上陸した後、北東方向に進み、各地に大雨をもたらしました。新暦9月は、平年に比べ偏西風が北に偏って流れ、太平洋高気圧が日本の東で強く、また、近海の海面水温の記録的な高さも影響し、月平均気温は全国的にかなり高くなりました。1946年の統計開始以降、9月として東・西日本では1位の記録的な高温となったようです。新暦10月は、東・西日本では、8日から9日にかけてと15日に本州南岸を通過した低気圧の影響で大雨となった所があったほか、低気圧通過後に寒気が流れ込み、気温が平年を下回った時期もありました。体感的には新暦10月に入ってようやく秋が感じられ始めましたかね…(遅い秋入りや大雨といった点は元ちゃん予想通りでしたが、ここまで秋入りが遅れるとは…)。と思ったら新暦11月。特に上旬は暖かく(いや、暑く)なりましたね。各地で夏日続出。新暦7日は東京で27.5℃まで上がり、1923年以来100年ぶりに新暦11月の最高気温を更新したようです。その暑さもようやく新暦11月の中頃から落ち着き始めました。

3. 元ちゃんの「秋」

十五夜月
葉月三日(5/9/29)金木犀(アップで)
長月四日(5/10/18)十三夜月
長月十三日(5/10/27)雲(親子の渡り鳥)
長月廿一日(5/11/4)

4. 元ちゃんの旧暦予想「冬」 新暦5.11.13~6.2.9

温続冬夙 (年内暖かな冬。冬は夙に起きるが良い)



つきづきし。

冬は新暦11月13日から始まります。まだ、閏二月の影響が残り、冬入りも遅れそうです。新暦12月中旬頃から本格的な冬の訪れと予想しますが、季節の歩みは遅く、新暦2023年いっぱいには暖かさが残るでしょう。新暦2024年に入ってから寒くなりそうです。

冬はつとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭もて渡るもいと